



# 木曽川下流自然観察会

<http://owari.eco.coocan.jp/kisogawa.html>

日時 2023年7月9日(日) 9:30~12:00 (曇り|小雨)

参加者 一般:4名

指導員:3名

## テーマ 草原の生きもの

セミヤトンボが賑やかになる頃で、テーマは「昆虫」を予定していましたが、前日の天気予報で雨天とのことで、急遽、植物も加えて「草原の生き物」として資料を変更しました。

朝、家を出るときはひどい雨で、大雨注意報も出ていましたが、観察会が始まる頃には雨はあがり、ほとんど傘なしで回れました。

24節季の小暑(暑気に入り梅雨のあけるところで、今年は7月7日)も過ぎ、季節は盛夏のですが、既に秋の七草も咲き始めています。季節が進むのは早いですね!

川原を覆っているクズでは、葉の陰に隠れているのか花は見えませんが、木に絡んで立ち上がっている蔓には赤紫の花がチラホラと観察できました。138タワーパークでは植栽されたキキョウとオミナエシが咲いていました。園芸品種は野生のものより開花時期が早い気がします。大野極楽寺公園では、カワラナデシコが咲いていました。以前、公園の管理者から、植栽したものではないと伺いましたが、毎年、池のほとりで花をつけています。その近くでは秋の七草ではありませんが、ツリガネニンジンの花がたくさん見られました。他所では9月頃に咲いているので秋の花のイメージですが、ここでは毎年7月には咲き始めます。

この日は自然観察会がどんなものか体験してレポートを書くという初参加の大学生がみえたので、過去に何回も説明したカワラサイコをはじめ、セイヨウウツボグサ、ノカンゾウ(一重)とヤブカンゾウ(八重)なども改めて観察してみました。

10時を過ぎたころから、モンキチョウ、ツマグロヒョウモン、ヒメウラナミジャノメ、シオカラトンボ、ウスバキトンボなども飛び始め、クマゼミやニイニイゼミの鳴声も聞かれ、夏本番といった感じになりました。ただし、池でギンヤンマやコシアキトンボが見られなかったことは気になります。今季、トンボは少ないのでしょうか。

(報告: 齋竹)

<その他観察できたもの>

虫: モンシロチョウ、キタキチョウ、ツバメシジミ、ショウリョウバッタ、セイヨウミツバチ、シオヤアブ、オオヒラタシテムシ(幼虫)

鳥: ツバメ、トビ、キジバト、ヒヨドリ、ムクドリ、スズメ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、カワセミ、ウグイス(声)、コジュケイ(声)

その他の動物: ウシガエル(声)

花: オオキンケイギク、フタナ、ヒメジョオン、ノアザミ、ヒナギキョウ、コマツヨイグサ、ミソハギ、イワダレソウ、シロツメクサ、ヌスビトハギ、ホタルブクロ、イヌコモチナデシコ、アメリカネナシカズラ、メリケンムグラ、ヤブミョウガ、ハンガショウ、タイサンボク、ハナソノツクバネウツギ

実: コブシ



(外来のセイヨウウツボグサの花を観察中)



早くも秋の気配: クズの花



カワラナデシコも咲いた



セイヨウウツボグサの小さな花



一重咲きのノカンゾウ